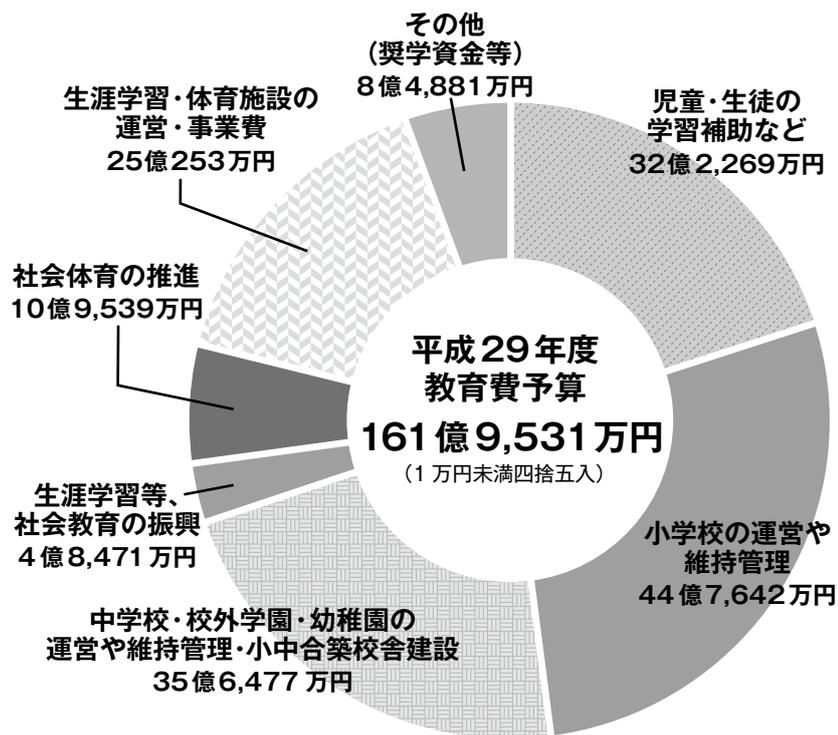


# 平成29年度 教育委員会 予算概要・主な施策

教育費予算は、「かつしか教育プラン2014」葛飾区教育振興基本計画に基づき、より必要性の高い部分に予算が重点配分されています。

このページで今年度予算の概要と、主な施策をご紹介します。

葛飾区ホームページには、より詳しい施策の説明がありますので、そちらもあわせてご覧ください。



## 平成29年度 教育委員会 主な施策

### 【グローバル人材育成事業（ICTによるイノベーション創出事業）】 学務課・指導室 73,429万円

社会のグローバル化やデジタル化による技術革新に伴い、「国際競争力」や「経済競争力」のある人材を育成するため、学習者用のICT機器を段階的に導入していきます。平成29年度は、中学校の生徒用タブレット及び小学校の指導者用タブレットを導入するとともに、ICT支援員を配置するなど、学校内のICT環境を整備します。

### 【グローバル人材育成事業（英語によるコミュニケーション能力育成事業）】 指導室 7,082万円

グローバル社会をたくましく生き抜く「豊かな人間力」を育成します。小学校6年生の日光移動教室に外国人英語指導補助員が同行し、英語活動の取組みにより、児童の英語学習への意欲を向上させていきます。また、中学校1、2年生を対象とした英語だけで生活する宿泊体験活動を行い、コミュニケーション能力の向上を図ります。さらに中学校2年生を対象とした、海外派遣を実施します。

また、区独自の地域英語教材を活用した授業を実施します。

### 【葛飾学力伸び伸びプランの推進】 指導室 7,996万円

学校長が自校の学力の実態に即して策定した学力向上プランを支援し、児童・生徒の学力の向上を図ります。また、各学校で策定したプランで、より成果が上がり、効果の高い取組みを区内小・中学校に広げていきます。

### 【学校施設の改築】

#### 学校施設整備担当課・学校施設課・学務課 178,937万円

適切な学習環境を確保できるよう、老朽化した学校施設の改築等を計画的に実施します。平成29年度は、小松中学校の新校舎の建設工事に着工するほか、その他の学校についても、「改築」、「一部改築・改修」に向けた取組みを進めます。（改築校：小松中学校・東金町小学校・高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校、一部改築・改修校：本田中学校・西小菅小学校）

また、上千葉小学校の新体育館・プールが竣工するとともに、既存体育館解体工事を実施します。

### 【通学路防犯カメラ設備整備事業】 庶務課 3,845万円

地域の安全、子どもの安全に対する取組みを強化するため、小学校の通学路に防犯カメラを設置します。平成29年度は、25校の通学路にそれぞれ5台設置します。

### 【学校支援総合対策事業（発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実事業）】

#### 学校施設課・学務課・学校教育支援担当課 4,657万円

発達障害の児童・生徒に対しての、在籍校の支援体制を整備するとともに、特別支援教室における指導では、障害の改善が困難な児童・生徒を対象として自閉症・情緒障害学級（固定学級）の設置の検討を行い、重層的な支援体制を整備することによって発達障害のある児童・生徒一人ひとりの生活上や学習上の困難さの改善を図ります。

平成29年度は、中学校の特別支援教室の拠点校増設に向けた準備を行うとともに、新中学1年生を対象に中学校における特別支援教室モデル事業を実施します。

### 【学校支援総合対策事業（不登校対策プロジェクト）】

#### 学校教育支援担当課 1,900万円

不登校及び不登校傾向にある児童・生徒に対して、個々の児童・生徒ごとに、不登校になったきっかけや不登校の継続理由を適切に把握し、その児童・生徒にあった支援策を学校とともに協議することで、早期の学校適応を目指します。

平成29年度は、（仮称）教育支援センターの設置に向けた準備を行うとともに、従来の適応指導教室に加え、訪問型の学校復帰支援を実施し、不登校児童・生徒を支援する体制を強化します。

### 【博物館展示事業の充実とプラネタリウムの改修等】

#### 生涯学習課 41,234万円

区民ニーズを考慮した特別展・企画展などの様々な展示事業を実施します。平成29年11月から平成30年5月までの期間で、プラネタリウムの投影システムを最新技術を搭載したものに更新するとともに、スクリーンや座席なども一新し、より快適な環境で一段とクオリティの高い番組を楽しむようになるほか、天文展示室やプラネタリウム前のエントランスなどについても、より機能的なものへと整備します。

### 【スポーツ施設の利用しやすい環境整備】

#### 生涯スポーツ課 81,737万円

奥戸総合スポーツセンター陸上競技場のトラック舗装を全面改修して、現在の直走路8レーン、曲走路6レーンを全走路8レーン化するとともに、フィールドの人工芝生張替え、サッカーコートのタッチラインを105m、ゴールラインを68mに拡張、ウォーキング・ランニングコースの新設に向けた準備、計画的なスポーツ施設の改修等、安全で快適にスポーツができる環境を整備します。また、フィットネスパーク構想に基づき、水元中央公園内に新たなテニスやサッカー・少年野球等ができるスポーツ施設を整備し、平成30年度の供用開始に向けた準備を進めます。